



新山 韶平 (青森/107期)

去年の決勝は何もできなかったので、今年は勝ちたいっていうより勝たないっていう気持ちです。オールスター、共同通信社杯と続いた後なので、そのモチベーションを保ったまま挑めるように。結果を残してまた調子を上げて行きたいと思っています。練習もしっかりできているし、優勝を狙って頑張ります。

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!

高橋 陽介 (青森/89期)

(14年以来)久々に地元記念に呼ばれますね。(13、14年と)毎年、仕上げて、決勝には乗っていた。その時はまだ先行、まくりだったけど、もうそうじゃない。だからラインとして機能できるようにと思ってます。脚力はいい時と比べても落ちることないし、良くなっている部分もある。脚だけはしっかりつくっています。



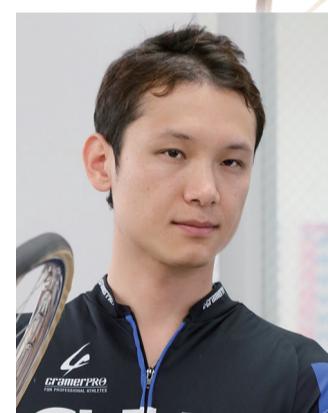
坂本 周作 (青森/105期)

「逃げさせてもらえただけ」と謙そんするが、8月富山記念では連日主導権を握って存在感を大いにアピールした。地元記念を走るのは今回が初めて。今の調子と勢いなら上位進出も十分にある。



小原 唯志 (茨城/101期)

昨年後半から調子を戻していたが、前期半年間のA級戦でその勢いはさらに増した印象だ。S級復帰後は伊東の完全優勝を皮切りに白星を量産。連勝で準決勝に勝ち上がった8月小田原記念以上の成績に期待だ。



坂本 亮馬 (福岡/90期)

オールスターでは精彩を欠いたが、本来なら争霸級に名を連ねる実力者。前々に攻めるスタイルは健在で、あとはフィニッシュの切れを戻すだけ。オールスターからの1カ月でどこまで立て直せているかに注目だ。

S級ブロックセブン

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

奈を連れての一発も。登もタテ脚は健在。地元記念に向けた貯金が残つていれば、角令央攻めての突っ込みも十分。不破将小川賢人に託すか、自分で前々に柏野智典の鋭脚にも期待が持てる。動きは軽快で成績の安定感はピカ一。予選突破が増えたけた貯金が残つていれば、角令央攻めての突っ込みも十分。不破将小川賢人に託すか、自分で前々に柏野智典の鋭脚にも期待が持てる。動きは軽快で成績の安定感はピカ一。予選突破が増えた

伏見は、9月岸和田で佐藤博のまぐりを差してV。ここも差し切りには警戒したいところ。伏見は、9月岸和田で佐藤博のまぐりを差してV。ここも差し切りには警戒したいところ。伏見は、9月岸和田で佐藤博のまぐりを差してV。ここも差し切りには警戒したいところ。

金子幸央が
押し切る

9/30 (最終日) 6R



金子 幸央